

このボランティア・NPO 活動センター通信は、龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO 活動センターの活動をご紹介する情報紙です。教職員の皆さんにセンターの活動を知っていただきたい！ボランティア活動に参加していただきたい！そんな思いを込めて制作しています。ぜひ、ご一読ください。

東日本大震災復興支援フォーラム2015 “復興”に寄り添う

～今までをふりかえり、明日を考える～ を開催しました。

◎当日のスケジュール

●13:00～ 開場

※今までの活動報告展示【和顔館 地下1階及び2階】
※石井 光太氏のサイン会、書籍販売 及び石巻市雄勝の物産品販売

●13:30～ 開演

司会：社会学部3回生 中川真実さん、理工学部2回生 岡本龍吾さん
・開会の挨拶 赤松 徹真学長
・龍谷大学・復興支援活動の活動報告【文学部3回生 藤原恵太さん】

●14:00～ 基調講演 石井 光太氏 「被災地の祈りの多様性」

●15:00～ 休憩

●15:20～ パネルディスカッション

★パネラー

・坂田 隆氏（石巻専修大学 学長）
・高橋 頼雄氏（雄勝硯生産販売協同組合 部長）
・赤松 徹真学長
・白土 奈央さん
（ボランティア・NPO 活動センター深草学生スタッフ代表法学部3回生）

★コーディネーター

・伊達 浩憲（ボランティア・NPO 活動センター長）

●16:50～ 閉会の挨拶 池田 勉副学長

●17:00～ 閉会

2015年12月12日(土)に深草キャンパス和顔館B201 教室にて『東日本大震災復興支援フォーラム2015“復興”に寄り添う』を開催致しました。学生、教職員、一般の皆様を含め、200名を超える参加者がありました。

基調講演では、ドキュメンタリー作家の石井光太氏が写真を見せながら、発災直後の生々しい様子を語られ、参加者は時に涙を流しながら、話を聴いていました。

パネルディスカッションでは、伊達センター長のコーディネートで、4名のパネリストがそれぞれの立場から、復興や被災地に対する想いが語られました。参加者からも熱心な質問や意見が寄せられ、会場に集まった人達の被災地復興に対する熱い想いが更に高まったのではないかと感じています。その手応えは当日実施したアンケートにも表れており、全体満足度は91.8%と非常に高い結果になりました。「改めて“東日本大震災”という出来事について深く考え、向き合うことが出来た」「龍大生が未だにボランティア活動をしていることに敬意を表します」等のご意見をいただきました。

また、会場の周りでは、学生スタッフが趣向を凝らして作成した復興支援活動に関する展示が行われ、たくさんの方が熱心に見入っていました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



今まで、大学として取り組んだ東日本大震災復興支援ボランティア活動や、様々な教職員が取り組んだ活動をまとめた活動報告書(2012年～2015年)を発刊しました！ご希望の方は、ボランティア・NPO 活動センターまでご連絡ください。

● 第2回東日本大震災復興支援ボランティア活動報告会

2015年11月12日(木)18:00~19:30 瀬田キャンパス3号館102教室

第2回東日本大震災復興支援ボランティア活動報告会を瀬田キャンパス3号館102教室にて開催し、学生、教職員、一般、合わせて約70名の皆様にご参加いただくことができました。

コーディネーターが活動概要について報告を行い、その後、参加した学生が「参加して考えたこと」「石巻市雄勝に対する想い」「活動終了後、雄勝を伝えるために行った行動について」「今後、取り組みたいこと」などについて語りました。過去に復興支援ボランティアに参加した卒業生も参加し、「活動の際に地元の皆さんとどんな出会いがあったのか、話を聴かせてほしい」との声や、雄勝出身の一般参加者からは「これからも続けてほしい」という声をいただきました。とても熱気溢れる時間になりました。



第13回NGOスタディツアー合同説明会「いい旅は、この説明会から始まる」を開催!

11/14(土)に、提携団体の特定非営利活動法人関西NGO協議会と株式会社マイチケットとの共催で、大阪梅田キャンパスにて第13回NGOスタディツアー合同説明会を開催しました。当日は、スタディツアーを企画しているNGO14団体に参加していただきました。65名の来場者の皆さんは、NGOのブースを回って、スタッフやツアー参加経験者から直接お話を聴いたり、熱心に質問をしたりしていました。春期休暇中に実施されるスタディツアーの資料はボランティア・NPO活動センターにもありますので、関心のある人は、是非センターへお越しください!



「社会連携・社会貢献活動報告会2015」

分科会で報告を行いました!



12/19(土)、深草キャンパスで開催された「社会連携・社会貢献活動報告会2015」の分科会にて、「大津祭」、「深草ふれあいプラザ」の学生企画について、深草・瀬田の学生スタッフ6名が事例発表をしました。その後、参加者と熱心な質疑応答を行いました。

ボランティアコーディネーションカ 3級検定開催!

10/17(土)に特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会との共催事業でボランティアコーディネーションカ3級検定を深草キャンパスで開催しました。本学学生の合格率は84.7%と、同時期に開催した検定受講者の中では、第2位の高い合格率でした。



学生企画

●大津祭へのボランティア協力●

江戸時代から400年続く大津祭、宵宮が10月10日(土)、本祭が11日(日)に行われました。両日あわせて延べ59名の本学学生がボランティアに参加し、地域の方々と一緒に伝統行事に参加しました。豪華絢爛な13基の曳山が巡行。鉦や太鼓の音が旧大津市街に響き、14万7千人(主催者調べ)の観光客がお囃子を聞きながら「からくり」や「ちまきまき」を楽しむ中、学生たちはさまざまなボランティアを経験しました。毎年、多くの学生が大津祭に協力しています。

◎活動内容

- 説明会、山建て見学、曳き初め
10月4日(日)10:00~16:00
- 宵宮(大津祭スタンプターリングのブース手伝い、案内所の手伝い)
10月10日(土)12:30~21:30
- 本祭(月宮殿山の綱曳き、曳山巡行ルート of 安全管理、曳山巡行の先導役等)
10月11日(日)7:00~19:00



学生スタッフの活動報告

深草キャンパス

- 日程：10/30(金)～11/1(日)
- 展示会場：22号館 107教室

「ボランティアの多様性」をテーマに、様々なボランティアを紹介する展示を行いました。その名も「こちりりゅうこ区大学ボランティア・NPO 活動センター展示所～見てみようボランティアの世界を～の巻」でした。890名もの皆さんにご来場いただきました。模擬店ではフライドポテトを販売しました。収益金は、一昨年に引き続き、東日本大震災後、避難経験をして福島に戻ってきたママたちで作ったサークルの「はみんぐ Bird」に寄付しました。手紙と共にお届けし、とても喜んでいただきました。



龍谷祭

瀬田キャンパス

- 日程：10/24(土)～10/25(日)
- 展示会場：3号館 206教室

『響心』をテーマに、ボランティア・NPO 活動センターの活動目的や活動内容、ボランティア紹介、復興支援活動に関する展示を行いました。来場者参加型の展示で、皆さんのご協力で素晴らしい作品を完成させることができました！

龍大生、教職員、地域の皆さんなど、子どもからお年寄りまでたくさんの方々にご来場いただきました。案内や説明の際に来場者の方といろいろなお話をさせてもらい、共感しあうことができました。模擬店では、昨年度大人気だったタンドリーチキンを販売しました。



瀬田東学区文化祭の自主防災会のブースへの出展協力 【10/24(土)】

10月24日(土)に開催された瀬田東学区文化祭の自主防災会のブースで、本学が2011年より実施してきた東日本大震災復興支援活動および2013年の台風18号の際の災害復旧ボランティア活動についてのポスター展示と、参加経験のある学生スタッフが来場者への説明を行いました。当日は秋晴れの中、多くの地域の皆さんにご来場いただき、学生も熱心に説明していました。「災害時には、地域住民同士の“つながり”が大事！」というメッセージもしっかり伝えました。また、自主防災会メンバーの皆さんからは瀬田東学区のことや日頃の活動についてお話を伺い、防災士の皆さんにはAEDの体験をさせていただきました。学生たちにとって地域の皆さんとの交流も印象に残ったようでした。



学生スタッフ ボランティア啓発企画 『子どもミュージアム商店街 in 石山商店街』 【11/28(土)】

石山商店街(大津市)にて「子どもミュージアム商店街」という商店街で子どもたちが本物の仕事を体験するワークショップイベントが開催されました。「龍大生のボランティアへの興味・関心・理解を広げ、まちづくりに参画できること、地域の人とつながることができることを伝えたい」と、そのきっかけ作りとして学生スタッフが呼びかけ、30名の龍大生が活躍しました！



「第25回深草ふれあいプラザ」へのボランティア協力【10/18(日)】

藤森神社(京都市伏見区)で開催された「深草ふれあいプラザ」に本学学生40名がボランティア協力しました。深草地区5学区対抗戦のステージ司会と運営、地域の団体が運営する様々な模擬店のお手伝いを行いました。たくさんの方が深草を大切に思い、守っている。人々のそんな思いに触れた1日でした。



「南区民ふれあい祭り」へのボランティア協力【11/8(日)】

東寺(京都市南区)で開催された「南区民ふれあい祭り」に学生スタッフがブース(ちびっこひろばで、子ども達が遊べるコーナー)を企画・出展しました。学内で募集した一般学生も含め学生26名が参加しました。あいにくの雨模様で、予定通りに進めることができず、開始が遅れるなどのトラブルもありましたが、協力し合いながら無事に活動を終わることができました。初めてボランティアに参加する学生にとっても、子どもや地域と触れ合える絶好の機会になっていたようでした。



春季体験学習プログラム実施します

●海外体験学習プログラム —インド共和国— 2016年3月1日(火)～3月10日(木)

※ボランティア・NPO活動センターが実施する海外体験学習プログラムは、学生が現地の地域社会の抱える諸問題に触れることを目的としたプログラムです。行き先は、治安や衛生環境などの安全を検討のうえ選定しています。現地の福祉、環境関連のNGOとの交流を通して、ボランティアなどの体験学習を行うことにより、異文化間における相互理解と共生を学ぶことを目指しています。



- ◆引率団体：公益社団法人 全国愛農会 (有機農業に真剣に取り組む全国組織)
(協力団体：特定非営利活動法人アーシャ=アジアの農民と歩む会、インド三浦後援会)
- ◆テーマ：『持続可能な暮らしと農業を考えるインドの旅』
- ◆プログラム内容：現地の村の子どもたちや大学生、NGOスタッフとの交流を通じて、団体が取り組んでいる活動(持続可能な農業、農村開発、女性の地位向上、母子保健活動、収入向上等)について学びます。

●国内体験学習プログラム —福島県及び京都府(宮津市)

- ◆日程：2016年2月22日(月)～2月25日(木)
- ◆企画・引率：筒井のり子(社会学部 教授)
- ◆テーマ：福島スタディーツアー
～福島の“今”を見、福島を生きる人々の“言葉”を聴き、そして“自分”を見つめる～
- ◆内容：福島市、郡山市、本宮市、飯館村、南相馬市のNPOや福祉団体、仮設住宅、農家などを訪問し、様々な立場の地元の皆さんから直接お話を伺います。福島の“今”を見つめ、そこに生きる人々の言葉を受け止め、自分自身の問題として福島について考えます。



- ◆日程：2016年3月13日(日)～3月16日(水)
- ◆企画団体：特定非営利活動法人 地球デザインスクール
- ◆テーマ：「丹後に出会う ～地域資源(人・自然・歴史・文化)の活かし方～」
- ◆内容：丹後地方の人、自然、歴史、文化などの地域資源を活かす取り組みを企業や団体から伺います。豊かな海、里山、そして満点の星空の下で、これからの地域社会のあり方や、生き方を学びます。

春季体験学習プログラム報告会を4月中旬に、瀬田キャンパスで開催予定です。日程が決まり次第HP等で告知いたします。ぜひ、ご参加ください。

Facebook、Twitterで、センターの取り組みやボランティア募集の告知、日常の活動の様子などを随時発信しています。ぜひご覧になり、いいね! とフォローをお願いします!

※ボランティア・NPO活動センターは、学生スタッフと教職員が共同で運営しています。

【発行責任者】 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 伊達 浩憲
ホームページ：<http://www.ryukoku.ac.jp/npo/> 深草(内線1490) 瀬田(内線7252)
E-mail：ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

Facebook：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター Twitter：@ryuvnc
(深草)：学友会館1階 (月～金 8:45～17:15) TEL：075-645-2047 FAX：075-645-2064
(瀬田)：青志館横 (月～金 9:00～17:30) TEL：077-544-7252 FAX：077-544-7261